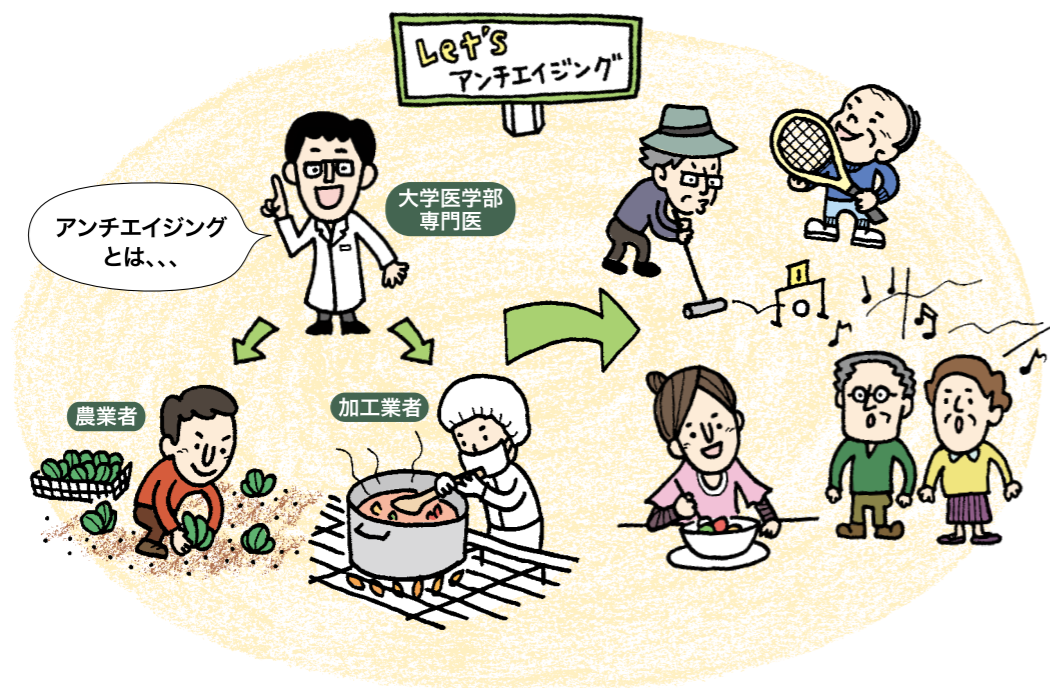




アンチエイジングの考えに基づく「食と健康プロジェクト」



- 抗加齢医学に基づき農産物の価値を評価
- アンチエイジングの専門医の助言を受けた開発
- 地域住民の健康増進を支援し予防医学を実践



シナリオ

- 高齢化社会を背景に、健康に対する様々なニーズがある中、老化を抑えるアンチエイジング（抗加齢）への関心が高まっている。
- そこで、消費者の健康志向に合わせた食を提供するため、農業者と食品加工業者が、大学病院や調理師と連携して「食と健康プロジェクト」を立ち上げることにした。
- プロジェクトでは、大学病院の専門医、栄養士や調理師の助言をもとに、アンチエイジングの考えに基づいて生産した農産物等を使用し、弁当や加工食品の開発を行う。
- さらに、大学病院周辺で販売する弁当や加工品に、抗加齢ドックの割引券、アンチエイジングセミナーの招待券、食事療法のアドバイスサービス券を付け、地域住民に向けた健康増進サービスを行う。

役割

農業者

- 有機・無農薬農業で培った栽培技術と経験を活かし、アンチエイジングの考えに基づいた農産物を生産する。

食品加工業者

- 食品加工技術を活かし、アンチエイジングの考えに基づく加工食品の開発や調理師の開発したメニューによる弁当の製造を行う。

大学病院の専門医

- 抗加齢医学の観点から、農産物の価値を評価し、抗加齢ドックやアンチエイジングセミナーを通じて地域住民の健康意識を啓発する。

栄養士・調理師

- アンチエイジングの考えに基づくメニュー開発を行い、食品加工業者に対する調理指導を行う。

効果

農業者

- 医学的な観点から農産物の価値評価を受けることで、品種改良、栽培技術の向上に取り組む意欲が醸成される。
- 健康志向の消費者ニーズの高まりにより、新商品の需要増が期待できることから、農業所得が向上する。

食品加工業者

- アンチエイジングという新たな価値に基づく商品を開発することで、健康志向の消費者向けの販売により、売上げが向上する。

大学病院

- プロジェクトを通じた健康意識の啓発により、抗加齢ドックの受診者が増えるなど、地域住民の健康増進が図られる。

Column

アンチエイジングとは

- 加齢という生物学的なプロセスに介入して、加齢に伴う動脈硬化や、がんのような加齢関連疾患の発症確率を下げ、健康長寿を目指すことである。
- 具体的には、適切な食事と栄養、適度な運動、禁煙など生活習慣の改善、サプリメント・栄養補助食品の活用、ホルモン補充療法、トレーニングなどに積極的に取り組むことをいう。なお、単に疾患予防というレベルを超えて、さらに健康レベルをあげていくことがアンチエイジング医学という。